

令和5年度 森林環境譲与税の使途公表

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	税導入の効果
			(A)+(B)+(C)	(A)うち令和5年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）		
徳島市	意向調査	森林整備推進事業費	5,980	0	5,980	0	<p>令和元年度に周辺5市町で発足させた「徳島東部・吉野川流域森林管理システム推進協議会」で、5カ年計画の4年目として前年に引き続き実施した意向調査では、新たな地区の森林所有者194人の声を聞くことができた。</p> <p>森林境界明確化については、これまでは主に実地調査による方法であったが、令和5年度からはリモートセンシングデータを活用した方法に変更した。具体的には、航空レーザを照射し、そのデータの測量・解析及び境界明確化候補図作成を実施した。</p> <p>森林整備事業については、1.01haの間伐事業を実施した。次年度以降は、リモートセンシングデータを活用した森林境界明確化の推進により、森林整備事業についても促進されることが見込まれる。</p> <p>また、今年度は新たに森林整備・人材育成・普及啓発・木材利用の各項目に寄与する事業を実施することができ、森林の整備に加えて、多くの市民に森林に触れてもらい、森林保全を行う意識を醸成することができた。</p>
徳島市	森林境界明確化	森林整備推進事業費	22,415	0	22,415	0	
徳島市	私有林整備	森林整備推進事業費	436	0	436	0	
徳島市	意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林整備推進事業費	1,221	0	1,221	0	
徳島市	人材育成等	森林整備推進事業費	398	0	398	0	
徳島市	路網整備	森林整備推進事業費	2,248	0	2,248	0	
徳島市							

徳島市	普及啓発・木材利用（店舗木質化補助）	森林整備推進事業費	6,334	0	6,334	0	徳島県内で生産された木材（県産材）を活用して、森林整備の必要性や木材利用の意義等の普及啓発を、多くの市民に効果的に行う事業者等に対して8件の補助を実施した。
徳島市	人材育成等	環境学習推進事業費	470	0	470	0	市内小中学校10校にて、学校敷地内に二酸化炭素の吸収量に優れた「早生桐」を植樹、その後の観察・研究等の環境学習を通じ、児童生徒の環境保全についての理解促進を図った。
徳島市	基金積立（森林整備等）	森林整備推進基金積立金	41,423	41,338	0	85	今後森林境界の明確化における森林境界の確認等に多額の費用を要することが見込まれることによる積立。